

科目No. S I 1 科目名(单元名) 看護学概論		配当時期 1年次前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 30時間		担当者 森 明広	
テーマと授業目標 ・看護師になるための看護の本質を学び、看護の理論について看護専門職者として必要な観点と考え方を理解する ・あらゆる看護の対象者に高い倫理感をもって健康に導くことが出来るように看護の主要概念を理解する ・看護の対象の理解と共に人間の成長発達について理解する ・健康のとらえ方と国民の健康状態について理解し、生活の全体像の把握ができる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	森	看護学概論の位置づけ 看護学とは		講義
2	2	森	看護の変遷 (ナイチンゲールの足跡)		講義
3	2	森	看護の定義 看護理論家の考え		講義
4	2	森	看護の対象理解 ストレス		講義
5	2	森	ニード論他 成長発達課題と発達過程		講義
6	2	森	国民の健康 健康と生活 (ディベート)		講義・演習
7	2	森	健康と生活 (ディベート発表) 国民衛生の動向		講義・演習
8	2	森	看護の起源 ナイチンゲール思想 看護の提供者		講義
9	2	森	看護師の養成 保健師助産師看護師法		講義
10	2	森	看護の本質としての看護倫理 倫理原則 看護師の倫理綱領		講義
11	2	森	ケアリングの倫理 ACP (アドバンスド・ケア・プランニング)		講義
12	2	森	ACPの実際 ACPガイドライン DNARIに対しての考え方 (ガイドライン)		講義
13	2	森	日本看護協会 倫理について 看護提供の仕組み		講義
14	2	森	看護サービス 看護管理 医療安全		講義
15	2	森	広がる看護の活動領域 災害看護		講義
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		看護を学ぶための基本的な知識や考え方について、長年の教育経験から、看護への興味・関心が持てるような講義として学ぶことができる。			
使用図書 (テキスト) 図書名: 系統看護学講座 看護学概論 基礎看護学(1)			出版元 医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名 看護覚え書・看護の基本となるもの			出版元 現代社 日本看護協会出版		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ その他 ()					

科目No.		S I 2		科目名(単元名)		共通基本技術論 I		看護技術の基本		配当時期		1年次前期		単位数		1 単位 (45時間)		時間数		4 時間		担当者		小陣 あけみ	
テーマと授業目標																									
専門職としての看護実践は科学的な裏付けとともに、安全・安楽に行う必要がある。																									
1.技術とは何かを考え、看護技術の特徴が理解できる。																									
2.看護実践を適切に実践するための要素について学び、看護技術の基本が理解できる。																									
3.看護技術を実践するために必要な身だしなみができる。																									
4.感染予防対策として必要な衛生的な手洗い、マスクの装着の目的を理解し実施できる。																									
授業回数		時間		講師		授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)														授業方法					
1		2		小陣		①基礎看護学の構成・考え方について②技術とは何か③看護技術の特徴④看護技術の範囲⑤看護技術を適切に実践するための要素⑥看護技術の発展と修得のために														講義					
2		2		小陣		①身だしなみについて②衛生的な手洗い、マスク装着について														講義・演習					
3																									
4																									
5																									
6																									
7																									
8																									
9																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									
評価方法				終講試験																					
科目アピールポイント				専門職としての看護技術の特徴、範囲、実践に必要な知識や考え方を、臨床経験と教育の経験から実践的な指導を受け、学ぶことができる。																					
使用図書 (テキスト)																									
図書名：系統看護学講座 解剖生理学																									
系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術 I																									
系統看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術 II																									
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)																									
看護がみえる①基礎看護技術																									
出版元																									
医学書院																									
医学書院																									
医学書院																									
出版元																									
メディックメディア																									

科目No. S I 2 科目名(单元名) 共通基本技術論 I 看護過程		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (45時間) 時間数 15時間		担当者 若佐 昌子	
テーマと授業目標 1.看護の対象が持つ看護上の問題点のアセスメント、看護問題の明確化、看護目標と看護計画の立案、看護の実施および看護評価に関する一連の思考過程を学習する 2.看護は実践の科学ともいわれるように、円状の必要性と根拠に基づいた看護計画のもとに看護技術が実施されることが重要であり、看護実践における問題解決思考を理解できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	若佐	看護過程 看護過程の5つの構成要素の関係性		講義
2	2	若佐	看護過程 看護過程を展開する際に基盤となる考え方		講義
3	2	若佐	看護過程 看護過程を展開する際に基盤となる考え方”		講義・演習
4	2	若佐	看護過程 看護過程の各段階、情報整理		講義・演習
5	2	若佐	看護過程 共同問題、看護問題、ゴードンの11パターン		講義・演習
6	2	若佐	看護過程 共同問題、看護問題、ゴードンの11パターン”		講義・演習
7	1	若佐	看護過程 学習支援		講義・演習
8	2	若佐	看護過程 学習支援 事例展開の説明 まとめ		講義・演習
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		終講試験＋事前学習提出 グループワークに取り組む積極性			合計 33点配点
科目アピールポイント		看護を計画的に展開できる技術の特徴、範囲、実践に必要な知識や考え方を、臨床経験と教育の経験から実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書（テキスト） 図書名：専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学②			出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・（スライド） ・CD ・カセットテープ その他（ グループワークとなることがあります ）					

科目No. S I 2 科目名(单元名) 共通基本技術論 I コミュニケーション		配当時期 1年次前期 単位数 1 単位 (45時間) 時間数 6時間		担当者 鳥羽 義之	
テーマと授業目標 ・コミュニケーション					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	鳥羽	コミュニケーションの意義と目的 ①コミュニケーションとは ②看護・医療におけるコミュニケーション		講義
2	2	鳥羽	コミュニケーションの構成要素と成立過程 関係構築のためのコミュニケーションの基本		講義
3	2	鳥羽	効果的なコミュニケーションの実際 コミュニケーション障害への対応		講義
4	2				
5	2				
6	2				
7	2				
8	2				
9	2				
10	2				
11	2				
12	2				
13	2				
14	2				
15	2				
評価方法		終講試験			合計 12点配点
科目アピールポイント		看護の基本的な技術の土台となる人間関係を形成するためのコミュニケーション技術に必要な知識や対応技術を、臨床経験と教育経験からより実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書 (テキスト)		出版元			
図書名: 専門分野 基礎看護技術 I		医学書院			
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元			
図書名: 医療者のためのコミュニケーション入門		精神看護出版			
使用予定の視聴覚機器					
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()					

科目No.		配当時期		担当者	
SI 2 科目名(单元名) 共通基本技術論 I フィジカルアセスメント		1年次後期 単位数 1 単位 (45時間) 時間数 20時間		小陣 あけみ	
テーマと授業目標					
1.ヘルスアセスメントの意義と重要性について説明できる					
2.バイタルサインに関する基礎知識について説明できる					
3.呼吸器系・循環器系のフィジカルアセスメントについて理解できる					
4.バイタルサインの測定が正しくできる					
5.看護学生としてふさわしい態度で対象者に配慮できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	小陣	ヘルスアセスメント・フィジカルアセスメント・フィジカルイグザミネーションの概念		講義
2	2	小陣	脈拍のしくみと機能 血圧計の使用法 測定方法と留意点 以上のアセスメントとケア		講義・演習
3	2	小陣	血圧測定		講義
4	2	小陣	血圧の仕組みと機能 血圧測定		講義・演習
5	2	小陣	呼吸に関する基礎知識 呼吸測定の方法、注意点 異常のアセスメント フィジカルアセスメント		講義
6	2	小陣	体温調節のメカニズム 体温の正常・異常 体温測定 意識とは 意識障害とは 感覚機能アセスメント		講義
7	2	小陣	演習 バイタルサイン測定		演習
8	2	小陣	演習 バイタルサイン測定		演習
9	4	小陣	実技テスト バイタルサイン測定		テスト
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		終講試験 技術試験		合計 55点配点	合計 55点配点
科目アピールポイント		看護の基本となるヘルスアセスメントの技術の特徴、範囲、実践に必要な知識や考え方を、臨床経験と教育経験からより実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書 (テキスト)			出版元		
図書名：系統看護学講座 解剖生理学			医学書院		
系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術 I			医学書院		
系統看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術 II			医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元		
図書名					
使用予定の視聴覚機器					
パワーポイント ・OHP ・ (ビデオ) ・スライド ・CD ・カセットテープ					
その他 (DVD)					

科目No. S I 3 科目名(单元名) 共通基本技術論Ⅱ 環境		配当時期 1年次前期 単位数 1単位 時間数 30時間		担当者 藤原 綾子	
テーマと授業目標 ・環境にはどのような要素があるか理解し、調整の仕方を学ぶ ・療養環境を整える方法を学び、技術を実施できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	藤原	ガイダンス 序章 看護技術の根底をなすもの 適切な技術習得のために		講義
2	2	藤原	環境調整（病室・病床・温度・湿度）		講義
3	2	藤原	ベッドメイキングについて		講義
4	2	藤原	演習 手洗い ベッド説明		講義・演習
5	2	藤原	演習 ベッドメイキングのシーツの準備 下シーツを作る		講義・演習
6	2	藤原	演習 マットレス、下シーツの練習		講義・演習
7	2	藤原	演習 防水シーツ 横シーツのさばき方		講義・演習
8	2	藤原	演習 上シーツのさばき方 四角、タックの作り方		講義・演習
9	2	藤原	演習 毛布、スプレッド、枕の作り方		講義・演習
10	2	藤原	演習 クローズドベッド作成の練習		講義・演習
11	2	藤原	演習 クローズドベッド作成の練習		講義・演習
12	2	藤原	クローズドベッド技術試験		試験
13	2	藤原	クローズドベッド技術試験		試験
14	2	藤原	環境整備について 方法及び観察点		講義・演習
15	2	藤原	臥床患者のシーツ交換 包布の練習		講義・演習
評価方法		終講試験 (60点) 技術試験 (40点)			
科目アピールポイント		療養環境を整える技術の実践に必要な知識や環境整備の実践を、臨床経験と教育経験からより実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書（テキスト） 図書名：基礎看護技術Ⅱ 阿曾 洋子 基礎看護技術			出版元 医学書院 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名：看護覚え書 F, ナイチンゲール 看護の基本となるもの V, ヘンダーソン			出版元 うぶすな出版 日本看護協会出版		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ DVD ）					

科目No.		配当時期		担当者	
S I 4 科目名(単元名) 生活援助技術論 I 活動と休息		1年次前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 30時間		北山 早苗	
テーマと授業目標					
1.姿勢の基本知識、ボディメカニクスの原理を理解する					
2.様々体位とその目的を理解し、体位変換、体位保持の援助を学ぶ					
3.車椅子・ストレッチャーについて理解し、以上の援助と移送の方法を学ぶ					
4.人間にとって睡眠・休息を理解し、睡眠障害を持つ患者への具体的な援助を学ぶ					
5.褥瘡の種類と褥瘡が身体に及ぼす影響を理解し、温褥法・冷褥法の実際を学ぶ					
6.苦痛の緩和や精神的安寧を目的とする看護行為について理解する					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	北山	基本的活動の援助		講義
2	2	北山	ボディメカニクスとは 関節可動域訓練		講義・演習
3	2	北山	てこの原理と体位(基本体位)		講義・演習
4	2	北山	移動 (留意点と根拠)		講義・演習
5	2	北山	体位変換		講義・演習
6	2	北山	歩行の介助		講義・演習
7	4	北山	移動・移乗・移送 (車椅子)		講義・演習
8	4	北山	活動・休息・睡眠・休息の援助		講義・演習
9	2	北山	睡眠障害とは		講義・演習
10	4	北山	身体ケアを通しての安楽援助		講義・演習
11	2	北山	冷褥法 (実際に使ったの安楽)		講義・演習
12	2	北山	温褥法とまとめ		講義・演習
13					
14					
15					
評価方法		終講試験 事前課題 レポート評価 技術試験			
科目アピールポイント		活動・休息を整える技術に必要な知識や移動などの実践を、臨床経験と教育経験からより実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書 (テキスト) 図書名: 系統看護講座 専門分野 I 看護技術 II 基礎看護学③			出版元 医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名: 看護技術プラクティス			出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 (DVD)					

科目No.		配当時期		担当者	
S I 5		1年次前期			
科目名(单元名)		単位数		北山 早苗	
生活援助技術論Ⅱ		1 単位		藪本 喜代	
清潔・衣		時間数			
		30時間			
テーマと授業目標					
1.皮膚・粘膜の構造と機能を知り、清潔援助の効果と全身への影響を理解する					
2.清潔援助の方法選択の視点を理解し、それぞれの清潔援助の基礎知識と実際を学ぶ					
3.衣生活の基本的知識を理解し、援助の実際と寝衣交換の手順を学ぶ					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	4	北山 藪本	清潔とは 病衣について		講義・演習
2	4	北山 藪本	寝衣交換手順		講義・演習
3	4	北山 藪本	全身清拭		講義・演習
4	4	北山 藪本	洗髪		講義・演習
5	4	北山 藪本	陰部洗浄・口腔ケア		講義・演習
6	4	北山 藪本	手浴・足浴		講義・演習
7	4	北山 藪本	技術試験		講義・演習
8	2	北山 藪本	ふり返り		講義・演習
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		終講試験(提出物含む)60% 実技試験40%			
科目アピールポイント		清潔を保持するための生活援助技術に必要な知識や清潔ケアなどの実践を、臨床経験と教育経験からより実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書（テキスト）			出版元		
図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅰ			医学書院		
看護技術Ⅱ 基礎看護学③					
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）			出版元		
図書名			MEDIC MEDIA		
看護が見えるVol1 基礎看護技術					
使用予定の視聴覚機器					
パワーポイント ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ					
その他（ DVD					

科目No.		配当時期 1年次後期		担当者	
科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅲ 食・排泄		単位数 1単位	時間数 30時間	小陣 あけみ	
テーマと授業目標					
人にとって食・排泄の援助ができる基礎的知識・技術を身につける					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	小陣	食事援助の基礎知識：食事の意義 食事のアセスメント		講義
2	2	小陣	栄養状態および食欲、摂取能力のアセスメント		講義
3	2	小陣	演習：嚥下食(トロミ食)		演習
4	2	小陣	食事介助の実際		講義
5	2	小陣	摂取・嚥下障害 (DVD)		講義
6	2	小陣	嚥下訓練		講義
7	2	小陣	経鼻経管栄養法 PEG		講義
8	2	小陣	中心静脈栄養法 排泄援助を受ける人の倫理		講義
9	2	小陣	排泄援助を受ける人の患者心理と倫理的側面 自然排尿および自然排便の介助(基礎知識)		講義
10	2	小陣	自然排尿および自然排便の介助 (トイレで排泄・ポータブルトイレ・症状排泄・おむつ交換)の援助		講義
11	2	小陣	導尿(一時的・持続的導尿) 浣腸・摘便		講義
12	2	小陣	演習：便器・尿器援助方法		演習
13	2	小陣	演習：意識レベルのある人の陰部洗浄・おむつ交換		演習
14	2	小陣	演習：意識レベル低下のある人の陰部洗浄・おむつ交換		演習
15	2	小陣	演習：意識レベル低下のある人の陰部洗浄・おむつ交換(異常編)		演習
評価方法		レポート評価 終講試験			
科目アピールポイント		食・排泄を整えるための生活援助技術に必要な知識や排泄ケアなどの実践を、臨床経験と教育経験からより実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書(テキスト) 図書名：系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 看護が見える① 基礎看護技術 看護が見える② 臨床看護技術			出版元 医学書院 医療情報科学研究所 医療情報科学研究所		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()					

科目No.	S I 7 科目名(单元名) 診療補助技術論 感染・安全確保 与薬		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (45時間) 時間数 22時間	担当者 深井 博文
テーマと授業目標 1.感染防止の技術について知る 2.安全確保の技術が解かる 3.与薬の技術がわかる 4.上記の技術を統合し、採血の技術を実施できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	深井	院内感染防止対策(消毒 滅菌 感染予防の基本 エピネット)	講義
2	2	深井	スタンダードプリコーション 滅菌手袋装着方法	講義・演習
3	2	深井	滅菌と消毒(スποルディング分類) PPE装着手順 清潔操作	講義・演習
4	2	深井	感染性廃棄物の取り扱い カテーテル血流感染対策	講義
5	2	深井	安全確保の基礎知識 1999年2大医療事故の概要	講義
6	2	深井	誤薬防止 6つのR	講義
7	2	深井	患者誤認防止 誤薬防止の実際 抗がん剤曝露の防止	講義
8	2	深井	放射線曝露の防止 転倒予防	講義
9	2	深井	与薬 (錠剤 注射) メリットとデメリット 注射時の針刺しによる神経損傷	講義
10	2	深井	注射器接続 薬液の吸い上げ	演習
11	2	深井	筋肉注射(シミュレータを用いて穿刺) 点滴 (滴下確認 滴下計算) 三方活栓	演習
12	2			
13	2			
14	2			
15	2			
評価方法		終講試験と技術試験(100点法 診察検査 23時間と合算) 当講義は筆記試験30点【60点中】		
科目アピールポイント		看護の基本となる感染防止・安全確保や与薬を受ける人の援助技術の実践を、臨床経験と教育経験からより実践的な指導を受け、学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)			出版元	
図書名: 系統看護学講座 専門分野 I				
看護技術 II 基礎看護学③			医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名				
看護が見えるVOL.2			MEDIC MEDIA	
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目No. S I 7 科目名(单元名) 診療補助技術論 感染・安全確保 与薬		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (45時間) 時間数 23時間		担当者 鳥羽 義之	
テーマと授業目標 ・各種検査についてわかる ・心電図の取り扱い、検査方法についてわかる ・静脈血採血ができる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	鳥羽	症状生機能管理技術 A. 基礎知識 B. 検体検査 血液 尿 便 喀痰		講義
2	2	鳥羽	C生体検査 モニタリング ①心電図検査 ②モニター ③SP02 モニター		講義
3	2	鳥羽	④血管留置カテーテルモニター 診察の介助 検査処置の介助		講義
4	2	鳥羽	検査処置の介助		講義
5	2	鳥羽	心電図検査デモスト		講義・演習
6	2	鳥羽	血液検査 (静脈血採血デモスト)		演習
7	4	鳥羽	静脈血採血練習		演習
8	2	鳥羽	静脈血採血練習		演習
9	2	鳥羽	静脈血採血練習		演習
10	3	鳥羽	静脈血採血試験 (技術チェック)		試験
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		終講試験と技術試験(100点法 感染与薬 22時間と合算) 当講義は筆記試験30点【60点中】採血技術試験40点			
科目アピールポイント		診察・検査を受ける人の援助技術の実践を、臨床経験と教育経験からより実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野 I 看護技術Ⅱ 基礎看護学③			出版元 医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()					

科目No. S I 8 科目名(単元名) 臨床看護総論Ⅰ 経過別看護		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 30時間		担当者 北山 早苗	
テーマと授業目標 ・各ライフサイクルの理解と看護がわかる ・生活と療養の場における対象者と家族の看護について理解できる ・各経過別における対象者・家族の特徴と看護について理解できる ・症状のメカニズムを基盤と死、基本的な思考過程(アセスメント・診断・援助方法)に添って看護援助を理解することが出来る					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	北山	ライフサイクルからとらえた対象者と家族の健康上のニーズ ・各ライフサイクルの特徴の理解 ・各期の看護について		講義
2	2	北山	家族の機能・生活と療養の場からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ・家族とは?・健康とは?・健康の保持増進について		講義
3	2	北山	急性期における看護 慢性期における看護		講義
4	2	北山	リハビリテーション期における看護		講義
5	2	北山	終末期における看護		講義
6	2	北山	症状とは 呼吸に関連する症状を示す対象者への看護		講義 グループワーク
7	2	北山	循環に関連する症状を示す対象者への看護		講義 グループワーク
8	2	北山	栄養・代謝に関連する症状を示す対象者への看護		講義 グループワーク
9	2	北山	排泄に関連する症状を示す対象者への看護		講義 グループワーク
10	2	北山	活動と休息に関連する対象者への看護		講義 グループワーク
11	2	北山	認知・知覚に関連する対象者の看護		講義 グループワーク
12	2	北山	コーピングに関連する どう受け止めるかを考える		講義 グループワーク
13	2	北山	安全、生体防御とは(グループワークにて)		講義 グループワーク
14	2	北山	安楽に関連する症状を示す対象者への看護		講義 グループワーク
15	2	北山	安全と安楽とは、皆で考え討議を実施		講義 グループワーク
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		経過別・主要症状別の看護に必要な基礎知識と技術の実践を、臨床経験と教育経験からより実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④			出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()					

科目No. S I 9 科目名(单元名) 臨床看護総論Ⅱ 輸液 輸血 化学療法		配当時期 2 年次前期 単位数 1 単位 (45時間) 時間数 4時間		担当者 北山 早苗	
テーマと授業目標 ・輸液療法を受ける対象者への看護について理解できる ・輸血・化学療法を受ける対象者への看護について理解できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	北山	輸液療法の目的 点滴滴下数と計算問題		講義
2	2	北山	輸液療法の特徴		講義
3	2				
4	2				
5	2				
6	2				
7	2				
8	2				
9	2				
10	2				
11	2				
12	2				
13	2				
14	2				
15	2				
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		輸血・化学療法を受ける患者の看護に必要な基礎知識と技術の実践を、臨床経験と教育の経験から実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④			出版元 医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 (DVD)					

科目No. S I 9 科目名(单元名) 臨床看護総論Ⅱ 放射線検査・治療 における看護		配当時期 2 年次前期 単位数 1 単位 (45時間) 時間数 4 時間		担当者 今中 悦子	
テーマと授業目標 ・身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者への看護					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	今中	身体侵襲を伴う検査・治療における看護師の役割 身体侵襲を伴う検査・治療における看護援助		講義
2	2	北浦	放射線治療を受ける患者の看護		講義
3	2				
4	2				
5	2				
6	2				
7	2				
8	2				
9	2				
10	2				
11	2				
12	2				
13	2				
14	2				
15	2				
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		身体侵襲を伴う治療や放射線療法を受ける患者の看護に必要な基礎知識と技術の実践を、臨床経験と教育の経験から実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④			出版元 医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()					

科目No. S I 9 科目名(単元名) 臨床看護総論Ⅱ 手術療法		配当時期 2 年次前期 単位数 1 単位 (45時間) 時間数 4時間		担当者 近藤 龍一	
テーマと授業目標 外科的療法を受け、生体に侵襲が加わる患者への看護が理解できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	近藤	手術による、生体反応・侵襲が理解できる ・ 外科医療の基礎・手術侵襲の生体反応・麻酔について		講義
2	2	近藤	手術を受ける患者の手術看護が理解できる 周術期における安全管理・術前患者の看護・術中患者の看護		講義
3	2				
4	2				
5	2				
6	2				
7	2				
8	2				
9	2				
10	2				
11	2				
12	2				
13	2				
14	2				
15	2				
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		手術療法を受ける患者の看護に必要な基礎知識と技術の実践を、臨床経験と教育の経験から実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 別巻Ⅰ 臨床外科看護総論			出版元 医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()					

科目No.		S I 9 科目名(单元名) 臨床看護総論Ⅱ 集中治療		配当時期 2 年次前期 単位数 1 単位 (45時間) 時間数 5時間	担当者 馬場 友子
テーマと授業目標 1.集中治療室の概要、集中治療を受ける患者の特性を知る 2.集中治療を受ける患者に必要な看護を学ぶことが出来る 3.呼吸器疾患の動向を知る 4.呼吸器系の解剖生理、呼吸器疾患の病態生理の理解から看護を学ぶ					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	3	馬場	呼吸器疾患の動向 呼吸器の解剖生理と呼吸不全の病態と看護 気管吸引について		講義
2	2	馬場	集中治療室の特徴 集中治療を受ける患者の看護と家族ケア		講義
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法			終講試験		
科目アピールポイント			集中治療を受ける患者の看護に必要な基礎知識と技術の実践を、臨床経験と教育の経験から実践的な指導を受け、学ぶことができる。		
使用図書 (テキスト) 図書名 :			出版元		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他 ()					

科目No.		S I 9		科目名(单元名)		臨床看護総論Ⅱ		創傷管理 人工臓器		配当時期		2 年次前期		単位数		1 単位 (45時間)		時間数		6時間		担当者		佐藤 美香	
テーマと授業目標																									
1.創傷の基礎を知り、創傷処置、ケアの実際や対象者の看護について考えることが出来る																									
2.人工臓器(人工肛門・人口膀胱)の基礎を知り、ケアの実際や対象者の看護について考えることが出来る																									
授業回数		時間		講師		授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)														授業方法					
1		2		佐藤		創傷処置 創傷ケアを受ける対象者への看護														講義					
2		2		佐藤		人工臓器をつけている患者の看護														講義					
3		2		佐藤		創傷ケア ストーマケア演習デモスト														講義・演習					
4																									
5																									
6																									
7																									
8																									
9																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									
評価方法				終講試験																					
科目アピールポイント				創傷処置・創傷ケアを受ける患者の看護に必要な基礎知識と技術の実践を、臨床経験と教育の経験から実践的な指導を受け、学ぶことができる。																					
使用図書(テキスト)																								出版元	
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ																								医学書院	
臨床看護総論 基礎看護学④																									
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ																								出版元	
基礎看護学Ⅱ 基礎看護学③																								医学書院	
使用予定の視聴覚機器																									
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ																									
その他 ()																									

科目No.	S I 9 科目名(单元名) 臨床看護総論Ⅱ 治療 処置別看護		配当時期 2 年次前期 単位数 1 単位 (45時間) 時間数 12時間	担当者 山上 富子
テーマと授業目標 テーマ 救命救急処置技術について 目標 1.救急対応の考え方を理解する 2.急変時における初期対応について理解する 3.出血の種類と止血の手順を理解する 4.心肺蘇生法の知識・技術を理解する 5.トリアージについて理解する 6.院内急変の対応について理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	山上	救急対応の考え方 急変時における初期対応の流れ トリアージ	講義
2	2	山上	心肺蘇生法と基礎知識について	講義
3	2	山上	出血の書類と止血の手順 院内急変の対応について	講義
4	2	山上	一次救命処置について(発見からAED使用) バックバルブマスクの使用方法について	講義
5	2	山上	一次救命処置について 演習 呼吸管理について	講義・演習
6	2	山上	吸引の手技について 演習	講義・演習
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法			1.受講態度 2.終講試験	
科目アピールポイント			救急・救命時の蘇生に必要な基礎知識と技術の実践を、臨床経験と教育の経験から実践的な指導を受け、学ぶことができる。	
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論Ⅱ 基礎看護学			出版元 医学書院 出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目No.		S I 9 科目名(单元名) 臨床看護総論Ⅱ 画像診断 IVR		配当時期 2 年次前期 単位数 1 単位 (45時間) 時間数 4時間	担当者 藤澤 一朗
テーマと授業目標 画像診断とIVRに関する概略の理解					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	4	藤澤	画像診断 IVR概略		講義
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		1.受講態度 2.終講試験			
科目アピールポイント		画像診断やIVRの基礎知識を、臨床医としての経験を通して、より分かりやすく学ぶことができる。			
使用図書 (テキスト)		出版元			
図書名：系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学		医学書院			
図書名：		出版元			
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 (Keynote)					

科目No. S I 9 科目名(单元名) 臨床看護総論Ⅱ 治療処置別看護 放射線治療		配当時期 2年次前期 単位数 1単位(45時間) 時間数 2時間		担当者 小倉 昌和	
テーマと授業目標 経過別・主要症状別看護を理解する					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	小倉	放射線治療		講義
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法			1.受講態度 2.終講試験		
科目アピールポイント			放射線治療の基礎知識を、臨床医としての経験を通して、より分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学			出版元 医学書院 出版元		
図書名:					
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 (Keynote)					

科目No.		S I 9 科目名(单元名) 臨床看護総論Ⅱ 治療処置別看護 放射線治療		配当時期 2 年次前期 単位数 1 単位 (45時間) 時間数 4時間		担当者 高瀬 真也	
テーマと授業目標							
・医療機器の原理と臨床での安全管理について理解する * 測定原理を理解し、看護に役立てる							
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)				授業方法
1	2	高瀬	医療機器の原理と実際 1 使用時の環境 2 病棟用ME機器				講義
2	2	高瀬	医療機器の原理と実際 3 治療用医療機器の種類				講義
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
評価方法			終講試験				
科目アピールポイント			医療機器の原理と実際の基礎知識を、MEとしての経験を通して、具体的な機材を提示していただき、より分かりやすく学ぶことができる。				
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 臨床看護学総論 図書名：ME早わかりQ&A MEをめぐる安全			出版元 医学書院 出版元 南江堂				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()							

科目No. S I 10 科目名(单元名) 基礎看護学特論		配当時期 2年次前期 単位数 1 単位 時間数 45時間		担当者 小陣 あけみ	
テーマと授業目標 看護過程は、対象の固有の健康問題に対する看護を系統的に展開し、対象の個別性を踏まえた効果的な看護ケアを実践するための方法論である。看護過程の5段階;アセスメント・問題の明確化(看護診断)・計画立案・実施・評価の概念と活用方法を理解し、事例を通して、具体的な展開方法を学習する 1.既習の看護過程の展開の基礎の考えに基づき、1事例を用いて看護過程展開する 2.看護過程を理解し、系統的・科学的に思考する過程を学習する 3.看護過程の展開を通して、クリティカルシンキング能力や看護過程の能力の向上を図る 4.グループワーク・全体討論に積極的に参加できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	小陣	シラバスの説明 看護過程について		講義
2	2	小陣	共同問題 看護診断とは		講義
3	2	小陣	看護診断のタイプ 看護診断のルール アセスメントの具体的な進め方		講義
4	2	小陣	アセスメントの具体的な進め方 分析		講義
5	2	小陣	グループワーク(看護診断の記述 PES方式)		講義
6	2	小陣	グループワーク(看護診断の記述 PES方式)		講義
7	2	小陣	問題リスト 看護目標 看護計画		講義
8	2	小陣	看護計画		講義
9	2	小陣	情報収集～看護計画 評価		講義
10	2	小陣	看護過程 一連について復習		講義
11	2	小陣	CPIについて		講義
12	2	小陣	COPDの事例について CP抽出		講義
13	2	小陣	CP発表		講義
14	2	小陣	ND分析		講義
15	2	小陣	ND分析 グループワーク		講義・演習
評価方法		終講試験 課題評価 小テスト			
科目アピールポイント		ペーパーペイシェントをもとに看護過程展開技術の実際に必要な基礎知識と技術の実践を、臨床経験と教育経験からより実践的な指導を受け、学ぶことができる。			
使用図書(テキスト)		出版元			
図書名:					
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元			
図書名					
使用予定の視聴覚機器					
(パワーポイント)		・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ			
その他(		)			

科目No.		S I 10 科目名(单元名) 基礎看護学特論		配当時期 2年次前期 単位数 1 単位 時間数 45時間	担当者 小陣 あけみ
テーマと授業目標					
看護過程は、対象の固有の健康問題に対する看護を系統的に展開し、対象の個別性を踏まえた効果的な看護ケアを実践するための方法論である。看護過程の5段階;アセスメント・問題の明確化(看護診断)・計画立案・・実施・評価の概念と活用方法を理解し、事例を通して、具体的な展開方法を学習する					
1.既習の看護過程の展開の基礎の考えに基づき、1事例を用いて看護過程展開する					
2.看護過程を理解し、系統的・科学的に思考する過程を学習する					
3.看護過程の展開を通して、クリティカルシンキング能力や看護過程の能力の向上を図る					
4.グループワーク・全体討論に積極的に参加できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
16	2	小陣	ND分析 グループワーク		講義・演習
17	2	小陣	ND発表		講義
18	2	小陣	看護計画立案		講義
19	2	小陣	教育指導 グループワーク		講義・演習
20	2	小陣	指導教育 演習		講義・演習
21	2	小陣	指導教育 演習		講義・演習
22	2	小陣	評価		講義
23	1	小陣	まとめ		講義
評価方法			終講試験 課題評価 小テスト		
受講上の注意			・学習に必要なテキストおよび参考書は各自で準備しましょう・課題レポートは提出期限を守りましょう・グループワーク・演習は事前学習を行い、積極的に参加し学びを共有しましょう		
使用図書(テキスト)			出版元		
図書名:					
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元		
図書名					
使用予定の視聴覚機器					
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ					
その他()					